

障害児支援分野の ICT 導入モデル事業における導入事例

法人名 株式会社マルチビジョン
事業所名 オンライン砺波 B

1. 製品名

iPad (第 11 世代・256GB)

2. 導入前の課題

これまで当事業所では、学習支援の場面において紙の課題プリントを使用することが多く、課題の準備や実施後の確認に一定の時間を要していた。また、個別支援計画やモニタリング記録の作成においても、入力作業に不慣れな職員にとっては負担が大きく、記録の作成や共有に時間がかかることが課題となっていた。

3. 導入後の推進方法

iPad の導入後は、児童の学習課題の一部をアプリに置き換えることで、学習内容の管理や進捗確認が行いやすくなった。アプリを活用することで、児童の理解度や取り組み状況を把握しやすくなり、支援内容の見直しや振り返りにも役立っている。紙のプリントだけでは把握しづらかった変化や傾向を確認できるようになった点も、大きな成果である。

4. 導入後の成果

保護者との面談やモニタリングの場面においても、電子データを活用することで、児童の状況や支援の経過をより具体的に説明しやすくなった。口頭説明だけでは伝わりにくい内容についても、記録をもとに共有することで、保護者との意思疎通がよりスムーズになっている。

5. 今後の課題

今回の ICT 導入により、学習支援の幅が広がるとともに、職員の業務負担軽減や情報共有体制の改善が進んだ。今後は、児童の成長記録や支援状況を保護者にもより分かりやすく共有できる仕組みづくりを進め、ICT を活用した支援の質の向上に継続して取り組んでいく。

6. 写真（任意）

